

まちのお金
どう使われたの？

平成 28 年度
一般会計決算

まちの家計簿

町では昨年度、移住定住、子育て支援、保健・医療・福祉の連携など、町のにぎわい創出に向けて、町の特色を生かした活力あるまちづくりに、約33億9005万円を支出しました。
まちがどのようにお金を使い、どのように生かされたのかお知らせします。

☑ 一般会計

1 CHECK 自己収入はわずか。どう使う？

平成 28 年度一般会計の歳入総額は、前年度と比べ約 3.0% 増の約 36 億 2844 万円。

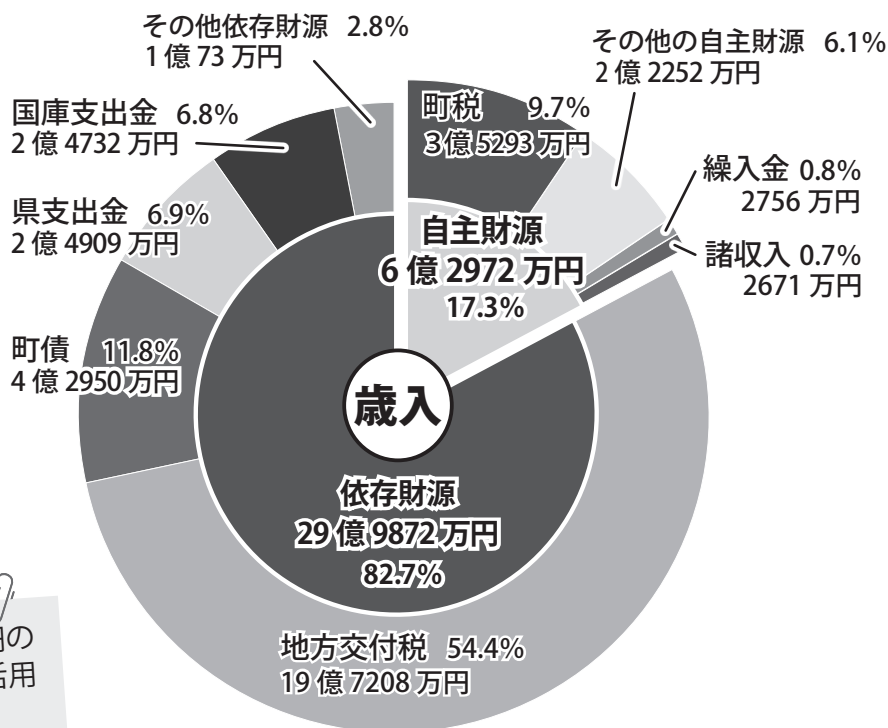
前年度と比べると、

- ・町税などの町の自主財源は約 12.8% 減
- ・地方交付税などの国や県に依存する財源は約 7.1% 増。特に、国から交付される地方交付税は歳入の約 54.4% と大きな割合を占めています。

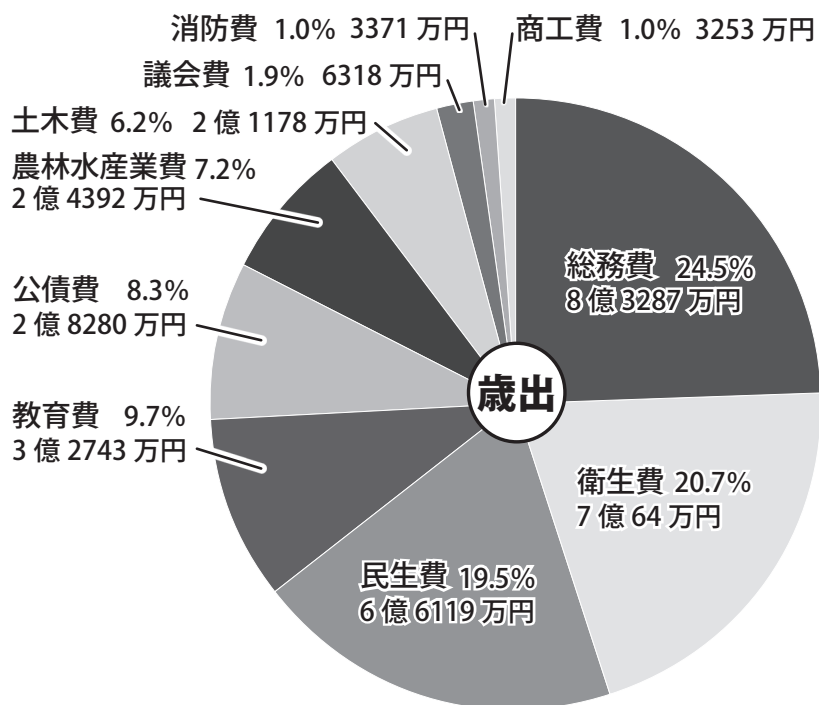
平成 28 年度決算では、歳入総額が増加しましたが、町債発行などが主なものであり、地方交付税などの依存財源に頼っているのが現状で、依然厳しい状況に変わりありません。限られた予算の中ですが、町の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

歳入から歳出を引いた差額の 2 億 3839 万円のうち、1238 万円は元日野サンプラザ有効活用事業として、次年度に繰り越して実施します。

一般会計歳入総額 36 億 2844 万円



一般会計歳出総額 33 億 9005 万円



2 CHECK 使うべきところにはしっかりと。

平成 28 年度予算は、平成 27 年 10 月に策定した「きらり日野町創生戦略」のもと、日野町における地方創生の実現を目指しました。そのため、歳出総額は、前年度と比べ約 0.8% 増となりました。

歳出全体に占める割合でみると

・庁舎管理や防災、移住定住・空き家対策、地方創生関連事業などの総務費が約 8 億 3287 万円。この中には、旧日野サンプラザの有効活用事業が含まれます。

・三町衛生施設組合汚泥再生処理センター建設負担金や日野病院事業負担金などの衛生費、民生費と続きます。

なお、町債の返済金である公債費は前年度と比べ約 47.2% 減。これは、震災関連で借り入れた県貸付金を繰り上げて返済した結果です。今後はブロードバンドなどの事業実施により借金の残高は増える見込みです。長期的な計画に基づき、返済額が大きな負担にならないよう財政運営を進めていきます。

☑ 特別会計

3 CHECK 特定の目的を持った会計

町には一般会計とは別にそれぞれで運営されている6つの会計があります。平成28年度の決算は右図のとおりです。平成28年度は一般会計から合計約2億4781万円を繰出しています。前年と比較して1701万円減少（6.4%減）しています。

特別会計は、医療や介護にかかる費用が多くなればなるほど町の負担も増え、一般会計を圧迫する仕組みとなっています。

会計名	決算額		歳入歳出差引額	前年度比
国民健康保険特別会計	歳入	4億4871万円	3584万円	0.1%
	歳出	4億1287万円		△5.8%
介護保険特別会計	歳入	6億3142万円	742万円	3.9%
	歳出	6億2400万円		2.7%
後期高齢者医療保険特別会計	歳入	5182万円	9万円	1.8%
	歳出	5173万円		1.8%
簡易水道特別会計	歳入	9427万円	—	△3.4%
	歳出	9427万円		△3.4%
公共下水道事業特別会計	歳入	1億491万円	—	8.2%
	歳出	1億491万円		8.2%
農業集落排水事業特別会計	歳入	3964万円	—	△12.9%
	歳出	3964万円		△12.9%

☑ 財政健全化比率・まちの貯金

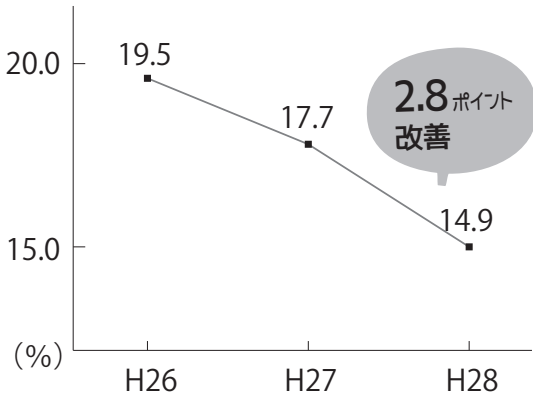
日野町の財政4指標の数値（平成28年度決算）

	財政再生基準	早期健全化基準	日野町
実質赤字比率	20%以上	15%以上	—
連結実質赤字比率	40%以上	20%以上	—
実質公債費比率	35%以上	25%以上	14.9%
将来負担比率	—	350%以上	—

4 CHECK 家計のやりくり度をチェックしよう!

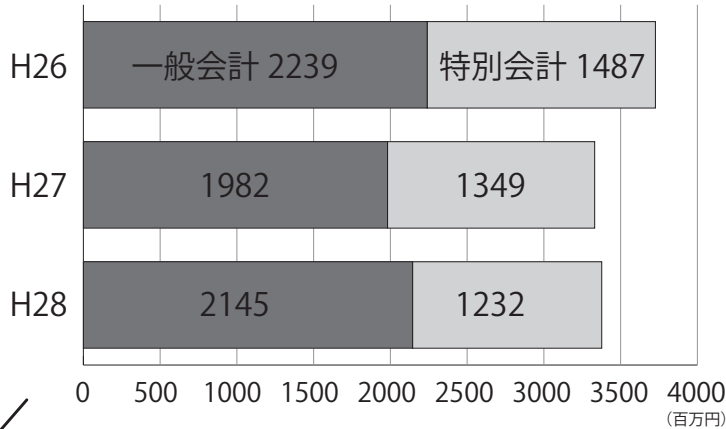
自治体の財政健全化を表す4つの指標は、すべて基準を下回り昨年度より改善が進みました。しかし、借金の返済額の大きさを示す「実質公債費比率」は、近隣町村に比べ、依然高い状態です。今後も健全な財政運営に努めます。

実質公債費比率の推移（過去3年）



家計のやりくりって大変...。先を見据えた財政運営、まちづくりが重要ですね

まちの借金の推移（過去3年）



5 CHECK いざという時の備えに。

町では、目的別に財政調整基金や町営バス購入等基金、観光振興基金、愛と元気の日野町ふるさと基金（ふるさと納税）など、毎年基金を積み立てています。その額は、平成28年度で20億円を超えました。

今年の9月には、老朽化が進んだ町の公共施設の修繕や改修などの長寿命化を図るため、町公共施設等長寿命化基金条例を制定しました。

今後も長期的な計画に基づき基金を積み立てながら、効果的な基金の活用を図ります。



まちの基金（貯金）残高（過去3年）

